

保護者の皆様

大阪府立八尾支援学校
校長 古川 綾子
准校長 山崎 夏生

令和5年度 学校教育自己診断の結果について【報告】

★報告の内容は下の4項目



(1) 提出率
(2) 集計結果・分析 (生徒・保護者・教職員)
(3) 記述回答
(4) まとめ

★★★ 分析基準 ★★★

- * 回答欄の「そう思う」または「だいたいそう思う」の回答があったものを肯定的と捉え、逆に「あまり思わない」や「思わない」の回答を否定的と捉える。
- * 達成度を測る基準として「肯定的意見が全体の70%以上」を捉える。また、「否定的意見は全体の30%以上」を課題として捉える。

(1) 提出率

	提出数	提出率	昨年度	合計	総合・提出率
保護者	121/371家庭	33%	85%	313/595	53%
教職員	149/159人	94%	92%		
生徒（高等部）	43/65人	66%	74%		

*昨年度との比較

- 保護者の提出率は、52%下降した。今年度は新たにGoogleフォームを活用して実施したことが、数値の大幅な下降の原因と考えられる。他のアンケート等で保護者がGoogleフォームを活用する機会を増やす、回答方法を見直す等、提出率向上に向けた検討を行っていく。
- 教職員の提出率は、2%上昇した。昨年からGoogleフォームを活用して実施しているが、今年度も「Googleアカウントがわからない」「ログインができない」などの声が一部あった。次年度は実施前に回答ができる状態であるかの確認を行い、引き続き自己診断の趣旨・ねらい等を踏まえながら主体的な参画を図っていく。
- 生徒の提出率は、8%下降した。本人の回答が難しいという保護者の声もあり、回答方法や項目内容の見直し等の検討を行っていく。

(2) 集計結果・分析 (生徒)

このアンケートは、みなさんが勉強したり、遊んだり学校で楽しくすごせるようにするためのものです。こたえ方は、「はい」「いいえ」「わからない」と書いてあるところを○でかこんでください。

■ 肯定的意見90%以上 ▲ 肯定的意見5%以上の上昇
▽ 肯定的意見5%以上の下降

	R5肯定	R4肯定	R5否定	R4否定
1 学校へ行くのが楽しいですか。	75 ▽	82	5	0
2 授業はわかりやすいですか。	70 ▽	77	2	2
3 学校では友だちの大切さや社会のルールについて学ぶことができますか。	72 ▽	79	0	0
4 先生はがんばったことをほめてくれますか。	86	86	5	4
5 先生はこまっているとき、たすけてくれますか。	88	86	0	0
6 いじめでこまっていることがあれば、先生は話を聞いてくれますか。	47 ▽	58	2	0
7 卒業後の進路のことを先生は教えてくれますか。	70 ▲	56	0	2
8 校外学習、宿泊学習、修学旅行は楽しいですか。	77 ▽	84	0	2
9 給食はおいしいですか。	81 ▽	86	2	5
10 学校でipad (アイパッド) を使うことができますか。	67	68	9	2

【考察】

- 10項目中、達成基準に達したもの(70%以上)は8項目あった。
- 昨年より5%以上数値が下降した項目は、1番『学校へ行くのが楽しいですか。』、2番『授業はわかりやすいですか。』、3番『学校では友だちの大切さや社会のルールについて学ぶことができますか。』、6番『いじめでこまっていることがあれば、先生は話を聞いてくれますか。』、8番『校外学習、宿泊学習、修学旅行は楽しいですか。』、9番『給食はおいしいですか。』の6項目あった。
- 基準に達しなかったものとしては、次の2項目が挙げられる。
 - ・ 6番『いじめでこまっていることがあれば、先生は話を聞いてくれますか。』は肯定的意見が11%下降し、否定的意見が2%あった。また、「わからない」への回答と無回答の数値が合わせて51%あり、昨年より9%上昇した。いじめに関しては、問題が表面化していない可能性も考えられるため、「いじめに関するアンケート」の実施や校内の「みんなの相談ポスト」の周知など、早期発見・早期対策に努めていきたい。
 - ・ 10番『学校でipad (アイパッド) を使うことができますか。』は、『わからない』への回答と無回答の数値は合わせて23%あった。授業等でのipadの活用は増加しているものの学校での取り組みが伝わっていないことが原因と考えられる。取り組み内容の周知方法の検討や、研修などによる教職員のICTに関するスキルアップを行い、より効果的な活用の検討を行っていく。
- 昨年より5%以上数値が上昇した項目は、7番『卒業後の進路のことを先生は教えてくれますか。』の1項目あった。進路指導の充実を図り生徒たちにわかりやすい発信をしてきたことや、進路に関する情報配信を積極的に行った成果の表れだと考えられる。

(2) 集計結果・分析 (保護者)

			R5 肯定 (全)	R4 肯定 (全)	R5肯定			R5 否定 (全)	R4 否定 (全)	R5否定			
					小	中	高			小	中	高	
児童・生徒の様子	1	学校へ行くことを楽しみにしている。	1	89	92	91	88	90	7	5	7	10	0
	2	授業を楽しみにしている。	2	84	86	87	81	79	9	8	9	13	0
	3	給食を楽しみにしている。	3	■96 ▲	90	93	98	100	3	7	4	2	0
	4	学校行事(運動会・学習発表会・校外学習・宿泊学習など)を楽しみにしている。	4	85	84	87	83	84	10	10	7	17	0
教育活動	5	『個別的教育支援計画』『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	5	■98	96	100	96	100	1	2	0	2	0
	6	子どもの発達段階や課題に応じた授業を行っている。	6	■93	94	100	90	79	3	3	0	4	11
	7	教科学習や生活指導における教材や教具は工夫・配慮されている。	7	■91	93	98	85	84	2	1	0	2	5
	8	『学習の記録』を通じて、学習状況や成果を適切に評価している。	8	■98	97	98	98	95	0	1	0	0	0
	9	避難訓練(地震、火災、不審者、通学バス)や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。	9	86 ▽	92	93	79	84	2	1	0	4	0
	10	体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権を尊重し、個々の実態にもとづいた指導・配慮がなされている。	10	75 ▽	84	80	73	68	8	2	6	13	5
	11	いじめなどについて子どもが困っていることがあれば真摯に対応してくれると思う。	11	74 ▲	67	82	73	58	6	2	2	8	11
	12	学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育(キャリア教育)を行っている。	12	88	86	87	88	90	6	3	4	10	0
	13	近隣の小学校・中学校との交流(居住地校交流含む)、高等学校との交流の機会を設けている。	13	74 ▲	68	80	69	74	11	10	11	13	5
保護者との連携	14	ホームページやマチコミメールなどを通じて積極的に保護者に情報を発信している。	14	■97	93	98	94	100	3	4	0	6	0
	15	児童・生徒についての保護者の悩みや相談に適切に応じている。	15	88	87	96	81	84	7	5	2	13	5
	16	学校では、PTA活動が活発に行われている。	16	88	88	80	90	84	2	3	2	2	0
	17	学習や生活の様子など、連絡帳や学年通信、また懇談会や授業参観などを通じて知ることができる。	17	99	97	100	98	100	1	3	0	2	0
教育環境その他	18	教室の掲示物やスケジュールなどの学習環境、また授業で使用する教材や内容提示の方法などが、児童・生徒の特性に応じて視覚的にわかりやすく示されている。	18	93	90	98	92	84	3	3	0	6	0
	19	校内でのけがや病気に対する適切な対応ができています。	19	84 ▽	90	89	79	79	7	1	6	10	0
	20	施設や設備は児童・生徒にとって安全に整備・点検されている。	20	68 ▽	76	80	58	58	14	6	6	23	16
	21	災害に備えて、備蓄や避難体制づくりなど取り組みを行っている。	21	84	88	87	81	84	1	2	0	2	0
実習	22	企業・福祉サービス事業所の情報を提供している。	22	90	90	△	△	90	5	5	△	△	5
	23	企業実習・福祉サービス事業所実習の取り組み・支援が適切に行われている。	23	90	92	△	△	90	5	2	△	△	5

【考察】

- 23項目中、達成基準に達したものの(70%以上)は22項目あった。
- 9番『避難訓練(地震、火災、不審者、通学バス)や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。』は肯定的意見が6%下降した。実効性の高い避難訓練になるように、毎年訓練内容の見直しを行って実施しているので、防災教育・安全教育の取り組みが保護者にしっかり伝わるように情報発信をしていきたい。
- 10番『体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権を尊重し、個々の実態にもとづいた指導・配慮がなされている。』は肯定的意見が9%下降し、否定的意見も8%あった。教職員としての行動指針の確認、セルフチェックシートの活用などを引き続き行っていく。また、人権研修を計画的に実施し、人権意識をより高めていきたい。
- 11番『いじめなどについて子どもが困っていることがあれば真摯に対応してくれると思う。』は肯定的意見が7%上昇したものの、否定的意見は6%あり、生徒向けアンケートの考察と同様に真摯に受け止める必要がある。また、「わからない」への回答と無回答の数値が合わせて20%あった。いじめ防止対策委員会を中心に「学校いじめ防止基本方針」の改定や教職員の資質向上の校内研修などの取り組みを実施しているが、校内体制がどのようなものか不明な保護者が多くいると思われるので、学校と家庭とが連携を取りながら早期発見・早期対策に努めていきたい。
- 13番「交流」に関する項目は6%上昇し、達成基準に達した。新型コロナウイルスの影響で制限されていた居住地校交流は、今年度通常の形で実施できるようになってきたことが上昇の理由と考えられる。今後も居住地校交流や近隣の学校園との交流が、本校の教育活動とより密接に結びつくようさらなる実践を進めていきたい。
- 19番『校内でのけがや病気に対する適切な対応ができています。』、20番『施設や設備は児童・生徒にとって安全に整備・点検されている。』の教育環境その他の項目でどちらも5%以上数値が下降している。月1回実施している施設設備の安全点検を引き続き行い、事故等の未然防止に努めていく。校内でのけがや病気に対しては、適切な救急処置や原因の把握など、迅速で丁寧な対応を行っていく。

(2) 集計結果・分析（教職員）

	No.		R5 肯定 (全)	R4 肯定 (全)	R5肯定			R5 否定 (全)	R4 否定 (全)	R5否定		
					小	中	高			小	中	高
教育活動	1	『個別の教育支援計画』『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	■96	93	98	96	100	1	4	2	2	0
	2	児童・生徒の発達段階や課題に応じた授業を行っている。	■91	91	90	94	96	7	5	10	4	4
	3	教科学習や生活指導における教材や教具は、視覚的にわかりやすくするなど、工夫・配慮している。	■95	92	97	92	100	4	5	3	8	0
	4	『学習の記録』を通じて、学習状況や成果を適切に評価している。	89	90	93	92	83	7	8	7	4	17
	5	避難訓練（地震、火災、不審者、通学バス）や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。	■95	93	92	98	96	4	7	7	0	4
	6	体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権を尊重し、個々の実態にもとづいた指導・配慮がなされている。	■93 ▲	88	93	90	96	5	10	5	6	4
	7	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応できている。	81	84	70	90	83	7	7	9	4	13
	8	学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育（キャリア教育）を行っている。	87 ▲	80	90	80	96	8	15	5	16	0
	9	企業実習・事業所実習の取り組み・支援を適切に行っている。	80	76	71	78	96	3	7	0	8	0
	10	近隣の小学校・中学校との交流（居住地校交流含む）、高等学校との交流の機会を設けている。	87 ▲	76	93	82	80	8	20	3	16	8
保護者との連携	11	ホームページやマチコミメールなどを通じて積極的に保護者に情報を発信している。	■95 ▲	90	90	100	92	5	8	10	0	4
	12	児童・生徒についての保護者の悩みや相談に適切に対応している。	■97 ▲	92	97	96	100	1	6	0	2	0
	13	学校では、PTA活動が活発に行われている。	■91	88	90	92	92	4	7	5	2	0
	14	連絡帳や学年通信を通じて、学習予定や内容などを積極的に提供している。	■96	95	98	98	96	1	3	0	0	4
組織マネジメント	15	校長は自らの教育理念や学校経営の考え方を明らかにし、リーダーシップを発揮している。	88 ▲	78	92	82	88	7	16	5	12	4
	16	准校長は自らの教育理念や学校経営の考え方を明らかにし、リーダーシップを発揮している。	77	78	75	75	79	9	12	5	12	21
	17	学校運営に教職員の意見や会議の結果が反映されている。	73 ▲	66	71	69	71	18	26	17	24	17
	18	学校運営に関する必要な情報が全体に知らされている。	77 ▲	70	80	75	71	18	23	12	20	29
	19	日々の教育活動における問題や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場である。	81 ▲	71	85	73	87	15	24	12	24	13
	20	体罰防止等の人権尊重について、日々の教育活動に反映できるよう、研修等に取り組んでいる。	■90	87	90	92	83	5	10	9	2	4
	21	初任・経験の少ない教職員への、育成における取り組みは積極的である。	70 ▲	64	66	77	63	22	30	29	14	29
	22	勤務実態や休憩時間、教材研究や授業準備の時間など、労働条件や労働衛生環境は改善している。	57 ▲	46	56	59	46	38	51	37	37	54
	23	個人情報の管理における校内システムは確立している。	83	80	76	90	83	10	14	15	4	13
24	学校予算は適正に編成・執行されている。	71	75	64	82	54	11	11	7	6	38	
地域連携	25	地域支援においてセンター的機能を発揮し、リーディングスタッフやコーディネーターが動きやすい体制（非常勤講師の配置など）が整っている。	75 ▲	63	71	80	67	12	19	15	12	8
	26	地域の幼稚園・保育園・小中学校・高校との連携・支援を行っている。	86 ▲	74	80	94	88	5	9	7	2	0
	27	言語聴覚士・臨床心理士・医師・子ども家庭センターなど、外部機関と連携し児童・生徒の支援を行っている。	88	85	88	92	71	7	8	7	4	17
	28	夏季研修、来校相談など地域に関わられた研修、相談事業を行っている。	■95	93	97	96	92	0	3	0	0	0
教務	29	公文書や指導要録等の管理は十分に配慮されている。	88	87	86	94	83	3	3	3	0	8

(2) 集計結果・分析（教職員）

	No.		R5 肯定 (全)	R4 肯定 (全)	R5肯定			R5 否定 (全)	R4 否定 (全)	R5否定		
					小	中	高			小	中	高
総務	30	施設・設備は安全面に十分配慮し、点検を行っている。	69 ▲	61	71	65	67	28	36	29	31	25
	31	PTA活動への教職員の理解・参加・協力は積極的である。	70	66	68	73	63	14	26	12	12	21
	32	ICT教育の推進に必要な機器（タブレット端末など）は充実している。	77	78	76	75	79	20	19	20	22	21
	33	日々の教育活動においてICT機器（タブレット端末など）を活用している。	86	91	80	92	100	11	7	17	6	0
生活安全	34	生徒指導について組織として迅速に対応できている。	85	87	80	94	79	7	7	7	2	17
	35	児童・生徒会活動は活発である。	69 ▲	63	71	63	75	24	30	20	33	17
	36	校内外における行方不明対策や校内巡視は整備されている。	85	88	81	90	75	10	9	14	8	13
	37	災害に備えて、備蓄や避難体制づくりなど取り組みを行っている。	87	89	83	92	83	3	8	5	2	0
保健衛生	38	保健室は健康に関する相談がしやすい。	87	90	85	90	79	6	7	7	8	4
	39	校内でのけがや病気に対し適切な対応をしている。	■96	98	95	94	100	2	0	3	2	0
	40	給食は子どもの実態に応じて安全に作られている。	■94	90	93	94	96	4	9	7	4	0
支援教育	41	校内支援（ケース会議・言語聴覚士相談・臨床心理士相談・ホッと相談会及び勉強会など）が受け易い体制が整っている。	87	87	92	86	79	5	5	3	8	4
	42	校内研修は、専門性を高めて日々の教育活動に活かすことができるように計画的に実施されている。	86	85	90	90	71	7	10	5	6	13
	43	キャリア教育発達段階表を基にした評価規準を活用している。	75 ▲	69	75	78	71	17	22	17	16	25
	44	支援教育に関する専門性向上や教材づくりに役立つ関連書籍、問題集、支援グッズがそろっている。	83	83	86	82	75	11	11	10	14	17
キャリア	45	進路指導に関する教職員向け研修や学習会が計画的に実施されている。	85 ▲	78	85	86	88	7	15	10	8	0
行事	46	運動会や作品展など、各教職員の役割分担と連携により円滑に行われている。	81	80	76	88	75	13	16	17	8	21

【考察】

- 46項目中、達成基準に達したもの（70%以上）は43項目あった。
- キャリア教育に関する項目の8番『学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育（キャリア教育）を行っている。』、43番『キャリア教育発達段階表を基にした評価規準を活用している。』は、どちらも肯定的意見が5%以上上昇した。キャリア教育に関する研修の実施や授業で学部を越えた取り組みを行ってきたことで、キャリア教育に対する意識がより高まってきたと考えられる。
- 10番「交流」に関する項目は、保護者同様に肯定的意見が5%以上上昇した。
- 15番～24番「組織マネジメント」10項目中、肯定的意見が5%以上上昇した項目が6項目あった。今後も情報共有を大切にしながら、よりよい学校経営に努めていく。
- 25番～28番「地域連携」は、全体的に数値が上昇している。新型コロナウイルスの影響で制限があった地域との連携や研修等を実施できたことが上昇の原因と考えられる。リーディングスタッフやコーディネーターが働きやすい体制を整え、今後も地域のセンター校としての役割を担っていきたい。
- 30番『施設・設備』は、肯定的意見が8%上昇したものの、達成基準に未達であった。日頃の安全点検や教職員、生徒ともに清掃をこまめに行っているが、校舎の老朽化など改善されない現状がある。否定的意見も28%と高く、特にプレハブ棟（トイレ含む）改善の要望もたくさんあるため、今後も要望を聞きながら改善に努めていく。
- 35番『児童・生徒会活動は活発である。』は、肯定的意見が6%上昇したものの、達成基準に未達であった。学年議会や挨拶運動、近隣の学校園との交流などの取り組みや活動をさらに充実させていきたい。

(3) 記述回答まとめ

多くのご意見をいただき誠にありがとうございました。

(複数あったご意見について回答しています。)

1 施設整備に関して

○プレハブ校舎の建て替えをしてほしい。

⇒府の予算で今年度はプレハブ棟の屋根に断熱材を入れる工事を行いました。校舎の老朽化などまだまだ課題が多いのが現状です。施設設備の老朽化については教育庁と十分に情報共有し、今後も必要な箇所から適切に改修を進めてまいります。

○特別教室がほしい。児童生徒がクールダウンできる場所がほしい。

⇒児童・生徒数の増加により、特別教室をホームルーム教室に転用するなど教室数が不足しているのが現状ですが、少ない空き教室を3学部で工夫しながら有効活用しています。教室数不足などの問題も引き続き教育庁に要望していきます。

○教室の手洗い場など、衛生的にきれいにしてほしい。

⇒日常的に教室の掃除を行っていますが、カビや細菌が繁殖しやすい手洗い場は特にこまめな掃除を行ってまいります。

2 教育活動に関して

○居住地校交流を増やしてほしい。

⇒個々の児童・生徒の交流及び共同学習が計画的・継続的・発展的に行えるように交流相手校と連携し、よりよい交流活動をめざしていきます。

○学校での出来事を連絡帳に書いてほしい。

⇒児童・生徒の日々の様子について、できる限り詳しく伝えられるように工夫・努力をしてまいります。

(4) まとめ

学校教育自己診断アンケート調査にご協力いただきましてありがとうございました。アンケートの結果（記述回答を含む）を全教職員で確認し、各関係部署で検討を行い、課題解決に向けて取り組んでまいります。

【提出率について】

昨年度と比較して教職員の提出率は上昇したものの、生徒（高等部）・保護者の提出率は下降しました。保護者については、今年度新たにGoogleフォームを活用してアンケートを実施したために数値が大幅に下降しましたが、他のアンケート等で保護者がGoogleフォームを活用する機会を増やす、回答方法を見直す等、提出率向上に向けた検討を行い、より精度が高いアンケートになるよう働きかけていきます。

【集計結果・分析について】

『生徒（高等部）向け』アンケートは、10項目中8項目が達成基準（肯定的意見70%以上）に達し、『保護者向け』アンケートは、23項目中22項目が達成基準に達しました。また、『教職員向け』アンケートは、46項目中43項目が達成基準に達しました。

『生徒（高等部）向け』アンケートは、昨年度と比較して肯定的意見の数値が5%以上下降している項目が6項目あり、全体的に数値が下降している傾向にありました。生徒にとって学校生活が充実したものになるように引き続き丁寧な指導支援を行ってまいります。達成基準に達しなかった2項目については、課題として真摯に受け止め、改善を行ってまいります。

『保護者向け』アンケートは、昨年度と概ね変わらない結果でありました。達成基準に達しなかった施設・設備に関する項目については、課題として真摯に受け止め、改善を行ってまいります。また「わからない」への回答と無回答の数値が高かったため、取り組み内容の周知方法の検討も同時に行ってまいります。

『教職員向け』アンケートは、全体的に数値が上昇している傾向にありました。特に「組織マネジメント」の項目は、10項目中肯定的意見が5%以上上昇した項目が6項目ありました。しかし、労働条件や労働衛生環境に関する項目は昨年同様に否定的意見の数値が高いままでした。校務運営の体制や業務の効率化への課題、またそこからくる教職員の多忙感がうかがえます。課題を整理し、効率的な校務運営となるよう改善に努めてまいります。